



朝日遺跡出土土器(愛知県教育委員会所蔵)

赤い土器の世界

～登呂式土器の赤彩を探る～

観覧料

大人(個人)	300円
大人(団体30名以上)	250円
小人(中学生以下)	無料



赤彩壺(登呂遺跡)

交通

- バス JR静岡駅南口から「登呂遺跡」行き
終点下車(約12分)
- 車 静岡ICから(約10分)
※登呂遺跡南側に有料駐車場有

平成24年2月11日(土)～3月20日(火)

静岡市立登呂博物館

鎌ノ井遺跡群出土土器(長野県立歴史館所蔵)



赤彩壺
(登呂遺跡)



赤彩壺
(篠ノ井遺跡群・長野県立歴史館所蔵)



赤彩人面付土製品
(七瀬遺跡・長野県立歴史館所蔵・
長野県埋蔵文化財センター提供)



赤彩壺
(高蔵遺跡・名古屋市博物館所蔵)



壺頸部の赤彩模様
(登呂遺跡)

赤い土器の世界

登呂式土器の赤彩を探る

登呂遺跡から出土する土器の中には、ベンガラという顔料を使用して赤く塗られた壺がみられます。登呂の人々はなぜ「赤」という色にこだわり、土器を赤く塗っていたのでしょうか。

本特別展では、登呂遺跡をはじめ長野県北信地域や愛知県の赤く塗られた土器を中心に展示し、赤彩の美、技法、広がりや系譜、人々が込めた想いなどを考えてみたいと思います。



壺口縁部の赤彩
(登呂遺跡)



赤彩鉢
(松原遺跡・長野県立歴史館所蔵)



赤彩鹿形土製品
(玉ノ井遺跡・名古屋市博物館所蔵)



赤彩長頸壺
(一宮市萩原町・名古屋市博物館所蔵)



壺口縁部の赤彩
(登呂遺跡)

展示構成と主な出展資料

- 1 登呂式土器の赤彩
登呂遺跡出土土器に見られる赤彩の姿を探ります。
(主な出展) 赤彩壺 (登呂遺跡)
- 2 赤彩の美
鮮やかな赤彩土器と土器以外に見られる赤彩により、その多様な芸術性を探ります。
(主な出展) 赤彩壺 (北川田遺跡・二宮市博物館所蔵)
赤彩長頸壺 (一宮市萩原町・名古屋市博物館所蔵)
赤彩高坏 (朝日遺跡・愛知県教育委員会所蔵)
赤彩された鹿形土製品 (玉ノ井遺跡・名古屋市博物館所蔵)
- 3 赤彩の技法
赤彩土器がどのようにつくられたのか、その技法を探ります。
(主な出展) ベンガラ原石 (長野市内)
ベンガラ精製用の石槌と台石 (松原遺跡・長野県立歴史館所蔵)
磨き石 (松原遺跡・長野県立歴史館所蔵)
- 4 赤彩の広がり
登呂ムラ周辺の赤彩土器がどのような広がりを持つていたのかを赤彩土器の系譜と青銅器の分布から探ります。
(主な出展) 赤彩壺 (篠ノ井遺跡群・長野県立歴史館所蔵)
赤彩高坏 (篠ノ井遺跡群・長野県立歴史館所蔵)
赤彩鉢 (篠ノ井遺跡群・長野県立歴史館所蔵)
銅釧 (篠ノ井遺跡群・長野県立歴史館所蔵)

関連事業

記念講演会「赤い土器の世界」

日時：平成24年2月19日(日)
午後0時30分～4時30分
会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール
演題・講師：①「『赤い土器のクニ』と呼ばれた
長野周辺の弥生土器」
長野市立後町小学校教諭 青木一男氏
②「登呂の時代の静岡と赤彩土器」
静岡大学准教授 篠原和夫氏
③「赤彩の祭り」
奈良大学名誉教授
(財)大阪府文化財センター理事長 水野正好氏

応募方法：1月31日(火)より電話受付
(受付先)静岡市コールセンター
054-200-4894
定員：先着80名(無料)

とろはく講座「土器づくり」

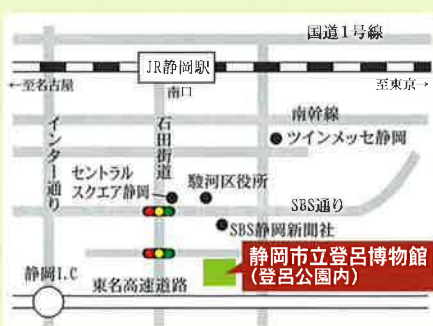
日時：平成24年2月18日(土)、3月10日(土)、
3月17日(土)【全3回】
午前10時から午後3時
(3月17日は正午まで)
会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール
対象：小学3年生以上 定員：先着20名
講師：弥生人体験クラブ 大川洪文氏
内容：土器づくり、登呂遺跡内での土器焼き、
作品鑑賞など
参加料：200円
応募方法：1月25日(水)午前9時より電話受付
(受付先)登呂博物館

展示解説

日時：平成24年2月26日(日)、3月18日(日)
午前11時～12時、午後2時～3時
会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室
応募方法：当日直接会場へどうぞ(要観覧料)
※中学生以下無料

静岡市立登呂博物館

〒422-8033 静岡市駿河区登呂五丁目10番5号
TEL 054-285-0476
開館時間 午前9時から午後4時30分
休館日 月曜日、祝日の翌日
※2月12日(日)は開館
観覧料 大人(個人)300円
大人(団体30名以上)250円
小人(中学生以下)無料
交通 JR静岡駅南口から「登呂遺跡」行き
終点下車(約12分)
静岡ICから(約10分)
※登呂遺跡南側に有料駐車場有



静岡市立登呂博物館
(登呂公園内)